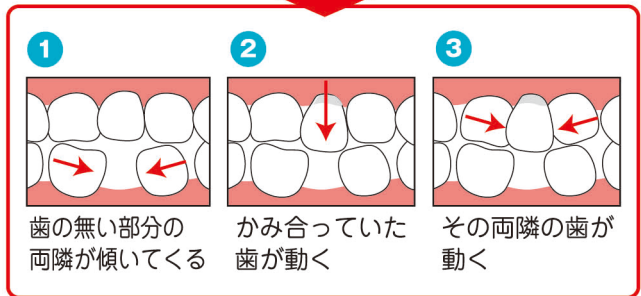
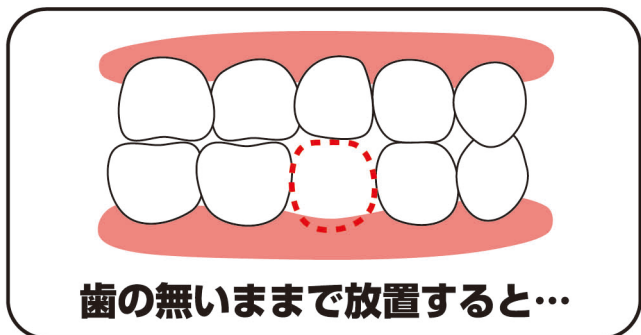


歯が無いまま放置する デメリット!



かみ合わせが悪くなると、むし歯・歯周病・顎関節症といったお口の中への影響だけでなく、首や肩のコリなど、全身に影響する場合があります。また、治療の際には治療期間が長くなり治療費の負担も増えます。歯が無い部分は放置せず、しっかり治療を受けましょう。



歯は1本1本が重要な役割をしています。歯が抜けたまま長い間放置すると、歯が傾いたりして歯並び・かみ合わせに影響します。

歯並びが悪いと隅々まで歯磨きできないことでむし歯や歯周病のリスクが高まります。磨き残しが多いと口臭の原因にもなります。さらに、特定の歯にかみ合わせの負担がかかりすぎて歯周病が悪化しやすくなります。



かみ合わせが悪くなると、顎の関節に負担がかかり、顎関節の痛みや口を開け閉めする際に雑音がある「顎関節症」の原因になることがあります。また、噛むために働く筋肉の動きがアンバランスになり、そこにつながっている他の筋肉が緊張したり、体の平衡バランスが崩れることにより、頭痛・肩こり・首の痛み・腰痛などの不調を引き起こすことがあります。



昔より歯が長く
見える気がする...

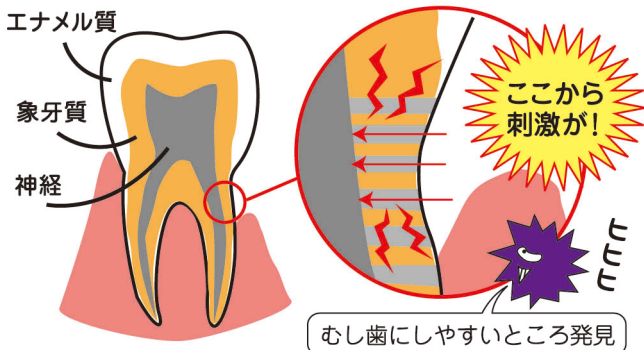


それは歯ぐきが
下がったせいかも!

歯周病や加齢などが原因で歯ぐきは下がります。歯ぐきが下ると歯の根っここの部分が見えてきて、歯が長くなった感じがします。歯の根っここの部分は表面が軟らかいため、むし歯になりやすく、歯がしみる知覚過敏の原因にもなります。歯科医院で定期的にフッ素を塗ることで根っここの部分の表面もコーティングされ、むし歯や知覚過敏の予防になります。

むし歯・知覚過敏の原因に

歯ぐきが下がって歯の弱い部分が現れる



対策!

歯科医院で定期的にフッ素を塗って弱い部分をコーティング!

